

西日本旅客鉄道株式会社

執行役員 米子支社長 牧原 弘 様

要 望 書



J R木次線 トロッコ列車の運行継続について

平素より、J R木次線沿線の地域振興にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、J R木次線は、開業以来、多くの地域住民が通勤や通学、通院などに利用する、生活に欠かすことができない路線であります。

また、沿線は、豊かな自然景観、神話やたたらなど地域特有の歴史や文化、温泉や食の幸などを併せもつ魅力的な地域であり、J R木次線を利用して全国から多くの旅行者や鉄道愛好者が訪れています。

とりわけ、平成10年に運行を開始したトロッコ列車「奥出雲おろち号」は、開放感あふれる車両で、全国的にも珍しい三段スイッチバックの体験やおろちループ橋の景観などを堪能することができる、沿線地域にとって貴重な観光資源であります。

そうした折、6月3日の米子支社長会見において、「トロッコ列車『奥出雲おろち号』は2023年度を最後に運行を終了する」との発表がありました。

トロッコ列車の運行終了が沿線地域に与える影響は非常に大きいことから、運行を継続していただきたく、次の事項について要望させていただきますので、格段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

記

○トロッコ列車の運行継続について

SLなどのようにその車両の古さが魅力となり、多くの方々にご利用いただいている観光列車の事例も多くありますので、トロッコ列車「奥出雲おろち号」の現行車両での運行継続を再度検討していただきたい。

また、現行車両での運行継続ができない場合は、後継車両の整備を具体的に検討していただきたい。

令和3年6月7日

木次線強化促進協議会

会 長 雲南市長 石 飛 厚 志

沿線自治体

雲南市長 石 飛 厚 志

奥出雲町長 勝 田 康 則

松江市長 上 定 昭 仁

出雲の國・斐伊川サミット

会 長 出雲市長 飯 塚 俊 之

島根県知事

丸 山 達 也